

一般撮影

一般撮影とは、診断したい場所に X 線を当て（照射といいます）、X 線画像を作る撮影法です。全身を対象とし、目的とする場所が診断しやすいように X 線を照射する方向や角度、距離などを調整して撮影しますが、それぞれの目的場所ごとに数多くの撮影法があります。

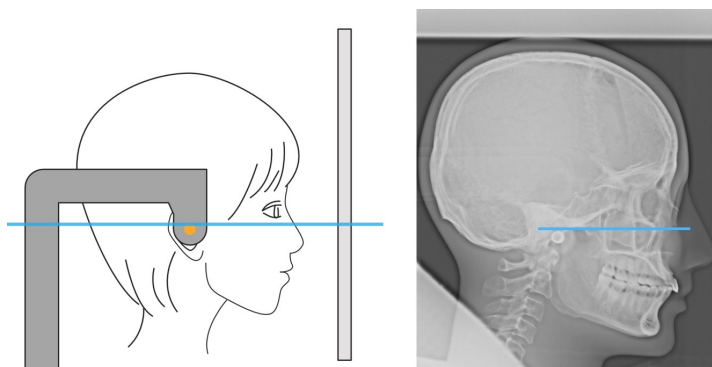
歯科領域では、顎や顔面の骨折や病気、また歯が原因で起こる顎や鼻腔（副鼻腔）の炎症などの検査を目的とした撮影法があります。

他にも子供の成長発育や、歯科矯正治療の診断および経過観察をするための撮影も含まれます。経過を比較するためには、いつでも同じ状態で撮影する必要があるので撮影装置の幾何学的配置が決まっています。

また、撮影する範囲に貴金属類（装飾品、入れ歯、補聴器など）を身に着けている場合、画像に写り込んでしまい診断の妨げとなりますので、検査時には外していただくようご協力をお願いします。



頭部 X 線規格撮影装置



頭部 X 線規格撮影 側面像